

(議事1)

2025年への具体的対応方針について

① 公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証

中津市民病院 経営強化プラン策定スケジュール（案）

令和5年

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		素案作成											
						院内調整・案作成							
									地域医療構想調整会議等関係機関へ説明				
										議会（厚生委員会）へ説明・パブリックコメントの実施			
												最終案の作成・県医療政策課及び議会（厚生委員会）報告・策定・公表	

公的医療機関2025プランの再検証について(宇佐高田医師会)

平成29年10月策定時

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

現状の救急医療、及び急性期医療の提供体制は維持をして行くが、下記事項も検討する。

- ✓ 予防医療・かかりつけ医機能・二次救急、急性期機能から慢性期機能までの医療については宇佐・豊後高田地域での自己完結型医療を地域住民に提供する。
- ✓ 地域住民が安心して暮らせるよう医療から介護までシームレスなサービスを宇佐・豊後高田地域において提供する。
- ✓ 現在死亡者数が多い悪性新生物への対応。
- ✓ 医師会員からの要望の高かった心疾患及び脳血管疾患への対応。
- ✓ 初期夜間救急体制の充実。
- ✓ 入院患者の早期退院及び在宅復帰への対応。
- ✓ 外来医療における高血圧性疾患及び糖尿病に関する予防医療の強化。

② 今後持つべき病床機能

基本、現在の急性期病床は維持する必要があるが、下記の事も検討する。

- ✓ 宇佐・豊後高田地域に不足している回復期病床への再編推進。
- ✓ 在宅療養支援診療所と回復期及び慢性期病床の連携強化。
- ✓ 夜間救急に関する医療機関相互の連携強化。
- ✓ 地域連携バスの充実。
- ✓ 宇佐高田医師会病院を中心とした医療従事者及び地域住民向けの研修会・講演会の強化。
- ✓ 宇佐・豊後高田地域にて提供が困難な医療機能に対する中津市・別府市・大分市の医療機関との役割の明確化。

③ その他見直すべき点

- ・ 医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、また、入院及び外来患者数が減少している
ので、今後の医療需要の推移を加味して、増患対策を検討する。
- ・ 財務分析により、経常収支が年々減少し、経常費用は、人件費を筆頭に増加傾向にあるので
今後は、経費削減、増患対策等を行い、安定した経営が出来るように検討が必要である。
- ・ 休日・夜間の救急医療の充実の為、更なる救急医療体制の整備が必要である。

令和5年1月策定時

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

現状の救急医療、**新型コロナ等の感染医療**、及び急性期医療の提供体制は維持をして行くが、下記事項も検討する。

- ✓ 予防医療・かかりつけ医機能・二次救急、急性期機能から慢性期機能までの医療については宇佐・豊後高田地域での自己完結型医療を地域住民に提供する。
- ✓ 地域住民が安心して暮らせるよう医療から介護までシームレスなサービスを宇佐・豊後高田地域において提供する。
- ✓ 現在死亡者数が多い悪性新生物への対応。
- ✓ 医師会員からの要望の高かった心疾患及び脳血管疾患への対応。
- ✓ 初期夜間救急体制の充実。
- ✓ 入院患者の早期退院及び在宅復帰への対応。
- ✓ 外来医療における高血圧性疾患及び糖尿病に関する予防医療の強化。

② 今後持つべき病床機能

基本、現在の急性期病床は維持する必要があるが、下記の事も検討する。

- ✓ 宇佐・豊後高田地域に不足している回復期病床への再編推進。
- ✓ 在宅療養支援診療所と回復期及び慢性期病床の連携強化。
- ✓ 夜間救急に関する医療機関相互の連携強化。
- ✓ 地域連携バスの充実。
- ✓ 宇佐高田医師会病院を中心とした医療従事者及び地域住民向けの研修会・講演会の強化。
- ✓ 宇佐・豊後高田地域にて提供が困難な医療機能に対する中津市・別府市・大分市の医療機関との役割の明確化。

③ その他見直すべき点

- ・ 医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、また、入院及び外来患者数が減少している
ので、今後の医療需要の推移を加味して、増患対策を検討する。
- ・ 財務分析により、経常収支が年々減少し、経常費用は、人件費を筆頭に増加傾向にあるので
今後は、経費削減、増患対策等を行い、安定した経営が出来るように検討が必要である。
- ・ 休日・夜間の救急医療の充実の為、更なる救急医療体制の整備が必要である。
- ・ **新型コロナウイルス感染症等の新興感染症に対する対策の充実、更なる感染医療体制の整備が必要である。**
- ・ **施設設備の老朽化が進み、早急に、新病院の構築を行うことが重要である。**

公的医療機関2025プランの再検証について(宇佐高田医師会)

平成29年10月策定時

【3. 具体的な計画】

① 4機能ごとの病床のあり方について 〈今後の方針〉

	現在 (平成29年度末現在)		目標 (2025年度)
高度救急病棟	100床	→	100床
急性期	100床		100床
回復期	100床		100床
慢性期	100床		100床
(合計)	400床		400床

〈(病棟機能の変更がある場合)具体的な方針及び整備計画〉

- ・ 現状に於いては、病棟機能等に変更は御座いませんが、新病院建築に向け、現在、宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会を立ち上げ、今後に向けて検討を開始する予定である。
- ・ 基本構想等は、この委員会にて決定して行きますが、現状に於いて考えられる計画案(当理事会にて承認された計画案)を【4. その他】に、記載致します。

〈年次スケジュール(予定)〉

	経緯内容	到達目標	(参考) 関連計画等
2021年度	宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 経営・施設整備検討委員会(以下)で検討する計画案の立ち上げ、 (注) 目標の明確化	
2022年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	
2023～2024年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	
2025～2026年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	
2027～2028年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	

令和5年1月策定時

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について 〈今後の方針〉

	現在 (平成29年度末現在)		目標 (2025年度)
高度救急病棟	100床	→	100床
急性期	100床		100床
回復期	100床		100床
慢性期	100床		100床
(合計)	400床		400床

〈(病棟機能の変更がある場合)具体的な方針及び整備計画〉

- ・ 現状に於いては、病棟機能等に変更は御座いませんが、新病院建築に向け、宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会、新病院の基本構想の協議を終え、令和2年1月に次の段階である建設準備委員会・拡大建設準備委員会等を立ち上げ、新病院建設における建設基本計画の策定を行った。令和4年3月に、建設基本計画の策定の終了に伴って、次の段階である、建設委員会に移行し、今後、2026年度開院を目指して協議・検討をする予定である。
- ・ 基本構想は、前回提示した(当理事会にて承認された計画案)通りであるが、その内容を踏まえ、建設基本計画の策定、および、建設基本設計の策定等を理事会の承認を得ながら現在進めている。

〈年次スケジュール(見直後) (予定)〉

	経緯内容	到達目標	(参考) 関連計画等
2021年度	宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 経営・施設整備検討委員会(以下)で検討する計画案の立ち上げ、 (注) 目標の明確化	
2022年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	
2023～2024年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	
2025～2026年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	
2027～2028年度	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	① 施設整備検討委員会(以下)の発足 ② 宇佐高田医師会病院 経営・施設整備検討委員会 発足	

公的医療機関2025プランの再検証について(宇佐高田医師会)

平成29年10月策定時

令和5年1月策定時

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (平成29年度実績)		将来 (2025年度)
増員	増員維持の予定	→	
削減		→	削減
増減		→	
変更・縮小		→	

<(診療科の見直しがある場合)具体的な方針及び計画>

新病院建築に向けて、現在、宇佐高田医師会病院 経営・施設整備構想検討委員会にて検討中です。

現在では、診療科の変更等は計画しておりませんが、構想検討委員会にて変更・見直し等が出てくる可能性があります。

その他の数値目標について

医療提供に関する項目

1 医療機能等指標に係る目標の設定

医療機能・医療品質に係るもの	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (見込)	2023年度
救急車受入件数	982	921	904	960	980	980	980
紹介率	57.1%	57.6%	58.5%	61.2%	62.0%	65.4%	65.9%
逆紹介率	82.7%	88.5%	94.8%	98.8%	100.2%	100.5%	100.6%

2 収入確保に係るもの

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (見込)	2023年度
病床利用率 (%)	68.0	68.0	66.2	67.2	72.0	75.0	80.0

病床利用率を80%台をめざします。

そのためには入院患者の確保が必要ことから、北部医療圏の医療機関との連携を強化し、入院医療を担っています。また、前方、後方連携により効率的な病床利用を計ります。

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (平成29年度実績)		将来 (2025年度)
増員	増員維持の予定	→	
削減		→	削減
増減		→	
変更・縮小		→	

<(診療科の見直しがある場合)具体的な方針及び計画>

新病院建築に向けて、宇佐高田医師会病院 経営・施設整備構想検討委員会にて、**診療科の変更等は決議されていませんが、今後、行政、建設委員会等の協議にて変更・見直し等が出てくる可能性があります。**

その他の数値目標について

1 医療機能等指標に係る目標の設定

医療機能・医療品質に係るもの	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (見込)	2023年度
救急車受入件数	948	912	847	761	595	980	980
紹介率	57.3%	57.2%	58.5%	53.1%	54.2%	48.9%	65.9%
逆紹介率	94.5%	98.5%	104.4%	96.4%	88.0%	78.2%	100.6%

*注:2020年度より新型コロナウイルス感染症患者受入専用病棟として、一般病棟を閉鎖し、新型コロナウイルス患者専用病棟(36床)の設置、解除を繰り返し、設置期間では、20床の病床を休止したために数値目標が低下している。

2 収入確保に係るもの

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (見込)	2023年度
病床利用率 (%)	66.5	68.2	68.2	61.0	43.5	50.3	80.0

病床利用率を80%台をめざします。

*注:2020年度より新型コロナウイルス感染症患者受入専用病棟として、一般病棟を閉鎖し、新型コロナウイルス患者専用病棟(36床)の設置、解除を繰り返し、設置期間では、20床の病床を休止したために数値目標が低下している。

そのためには入院患者の確保策が必要ことから、北部医療圏の医療機関との連携を強化し、入院医療を担っていきます。また、前方、後方連携により効率的な病床利用を計ります。

公的医療機関2025プランの再検証について(宇佐高田医師会)

平成29年10月策定時

【4. その他】

宇佐、豊後高田地域には公立病院が無いため、地元自治体及び市民からは救急医療に対する当院への期待が大きい。

今後二次救急に関して、当院の役割は益々重要になると予想される。病院の建て替えの際は、救急医療への対応を最重要課題と考えている。そのための医師をはじめとしたスタッフの確保が重要な問題である。

また、当院の特色である循環器疾患と消化器疾患の治療に関しては、更に専門性を深めてスタッフを充実させて、当院で完結できる医療を目指す。

そして今まで以上に、宇佐、豊後高田地域の開業医の医師が安心して日々の診療が出来るように、確実なバックアップ体制を構築していく。それが地域医療への最大の貢献であると確信している。

災害拠点病院としての、ソフト面ハード面の充実が急務である。

上記の事等により、新病院の開設を目指して構想案を執行部、理事会にて検討して参りました。

地域における将来の人口動態と医療環境の変化や地域医療構想を踏まえた役割等を見据えて、宇佐高田地域の市民や会員各位に必要かつ信頼される医師会病院の開設を目指し、宇佐高田医師会病院 経営・施設整備構想検討委員会に提出すべく以下の様な構想(案)がまとまりました。

今後、詳細は、宇佐高田医師会病院 経営・施設整備構想検討委員会にて検討予定です。

令和5年1月策定時

【4. その他】

宇佐、豊後高田地域には公立病院が無いため、地元自治体及び市民からは救急医療に対する当院への期待が大きい。

今後二次救急に関して、当院の役割は益々重要になると予想される。病院の建て替えの際は、救急医療への対応を最重要課題と考えている。そのための医師をはじめとしたスタッフの確保が重要な問題である。

また、今回の新型コロナウイルス感染症のような、新興感染症の対応もできるような対策が必要となってくる。

当院の特色である循環器疾患と消化器疾患の治療に関しては、更に専門性を深めてスタッフを充実させて、当院で完結できる医療を目指す。

そして今まで以上に、宇佐、豊後高田地域の開業医の医師が安心して日々の診療が出来るように、確実なバックアップ体制を構築していく。それが地域医療への最大の貢献であると確信している。

災害拠点病院としての、ソフト面ハード面の充実も急務である。

上記の事等により、新病院の開設を目指して構想案を執行部、理事会等にて検討して参りました。

地域における将来の人口動態と医療環境の変化や地域医療構想を踏まえた役割等を見据えて、宇佐高田地域の市民や会員各位に必要かつ信頼される医師会病院の開設を目指し、基本構想・基本計画等が策定され、新病院建築・移転に向け準備しています。なお、建設基本計画(全体計画)、および建設基本計画の概要は、別紙記載の通りです。また、新病院事業の詳細は、医師会病院のホームページに掲載されています。